

平成 30 年度 第 2 回 稲城市姉妹都市・友好都市交流協会設立準備会  
議事録 【要点記録】

【開催日時】平成 31 年 2 月 28 日（木） 午後 7 時から 7 時 40 分

【会 場】地域振興プラザ 2 階 商工会会議室

【出席者】■委員；出席者 11 人

- ・ 稲城青年会議所（中村 燈氏）
  - ・ NPO 法人市民活動サポートセンターいなぎ（角田 享氏）
  - ・ 稲城市芸術文化団体連合会（安東 道正氏）
  - ・ 稲城市青少年育成地区委員会正副委員長会（石橋 良生氏）
  - ・ 稲城市立学校 PTA 連合会（及川 和佳子氏）
  - ・ 公募市民（小沢 重郎氏）
  - ・ 稲城市教育委員会（城所 正彦氏）
  - ・ 平成 28 年度海外姉妹都市検討市民会議 公募市民（原 忠男氏）
  - ・ 公募市民（藤島 亮子氏）
  - ・ 稲城国際交流の会（藤田 佑二氏）
  - ・ 東京稲城ロータリークラブ（向井 俊右氏）
- <欠席>稲城市商工会（伊原 勇氏）  
          公募市民（田中 節子氏）

■行政

- ・ 事務局 4 人（企画部長（芦沢 政美）、企画政策課長（小澤 一浩）、  
企画政策課計画調整担当係長（井田 聡）、企画政策課主事（鶴見 愛））

【開会】

委員 長：本日はお忙しい中、また、夜分遅くにお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。定刻になりましたので、平成 30 年度第 2 回稲城市姉妹都市・友好都市交流協会設立準備会を開催いたします。まず、事務局より、配布資料の確認をお願いします。

井田 係 長：まず、本日ご欠席のご連絡をいただいておりますので、ご報告いたします。稲城市商工会の伊原委員、公募市民の田中委員、以上お 2 人からご欠席のご連絡をいただいております。また、公募市民の藤島委員、東京稲城ロータリークラブの向井委員におかれましては、到着が遅れるとの連絡が入っております。このことから、ご欠席が 2 名、到着が遅れる方が 2 名、ご出席いただいている方は 9 名になりますので、稲城市姉妹都市・友好都市交流協会設立準備会設置要綱の規定により、過半数の委員の出席がございますので、本会が成立していることをご報告いたします。

それでは、配布資料の確認をさせていただきます。本日お手元に配布しておりますものは、7 点になります。

- ①座席表
- ②次第

③資料1：平成30年度 稲城市姉妹都市・友好都市交流協会設立準備会 名簿

④資料2：平成30年度第1回姉妹都市・友好都市交流協会設立準備会  
(平成30年10月23日開催)

⑤資料3：稲城市姉妹友好都市交流協会の設立について(提言)

⑥資料4：平成31年度 稲城市姉妹友好都市交流協会運営準備会について

⑦資料5：今後のスケジュール(案)

こちらの資料につきましては、本日傍聴の方はいらっしゃいませんが、今後いらっしゃいましたら、同じものをお渡しする予定です。以上7点、過不足等はございませんでしょうか。

### 【次第1】前回のまとめ

委員長：それでは、次第1『前回のまとめ』について、事務局よりお願いします。

小澤課長：それでは『前回のまとめ』について、私からご説明いたします。

[資料2『平成30年度第1回姉妹都市・友好都市交流協会設立準備会(平成30年10月23日開催)』に基づき説明]

委員長：ご説明ありがとうございます。何かご質問等ある方いらっしゃいますでしょうか。

<意見・質問なし>

### 【議題1】『提言書(案)について』

委員長：それでは議題1『提言書(案)について』事務局より説明をお願いします。

小澤課長：それでは、『提言書(案)について』、ご説明いたします。

[資料3『稲城市姉妹友好都市交流協会の設立について(提言)』に基づき説明]

委員長：『提言書(案)について』ご意見・ご質問のある方は挙手願います。

芦沢部長：1点補足させていただきます。先ほどご説明させていただきました、提言書(案)の中に記載されている各委員会の事業につきましては、あくまでも“案”となっておりますので、これで確定というものでないことをご理解いただければと思います。

委員長：難しいものをすっきりまとめていただいて、分かりやすくいいと思います。事務局の皆さんお疲れさまでした。

1点、文言で気になった箇所があります。9ページ目の「おわりに」のところの「海外姉妹都市提携については、異文化と交流する～」とありますが、異文化ではなく、『多様な文化』とした方がよろしいのではないのでしょうか。

委員：その通りだと思います。

委員長：ご意見ありがとうございます。では、こちらは修正するという事でよろしいのでしょうか。

<反対意見なし>

委員長：他にご意見・ご質問ある方いらっしゃいますでしょうか。

委員：先ほど、事業案については、提言書（案）に記載されているものが全てではないという話でしたが、観光やPRといったことも必要になると思います。事業としては、地域交流委員会に入るとは思います、そのような事業も行ってはどうかと思います。

委員長：具体的にはどこの表現をどうしたらいいですか、ありますでしょうか。

委員：観光やPRもそうですが、語学・国際理解というような表現も入れるのがいいのではと思っています。

委員長：例えば、8ページの地域交流委員会の事業案として入れるというようなイメージでしょうか。

委員：そのようなイメージです。

委員長：事務局、いかがでしょうか。

井田係長：PRにつきましては、協会としても必要なものだと思いますので、提言書のどこかに盛り込みたいと思います。観光事業につきましては、9ページの「おわりに」において、観光協会との連携についても検討していくことが必要と明記しておりますので、そこで読み取っていただければと考えております。

また、地域交流委員会の事業案として、語学等を盛り込んでというご意見がありましたが、平成30年度第1回目の会議で検討いただいた事項かと思えます。たたき台を作成する上で、語学等を入れたらどうかという藤田委員のご意見がありましたが、ご議論の結果、そのような在住外国人支援については行わないという結論になったと認識しておりますので、今回の提言には明記していないところです。

委員長：確かに、語学については支援しないということで委員会として結論が出ていたと思います。藤田委員が仰っていたことは、国際理解・PRというような部分という理解でよろしいのでしょうか。

委員：その通りです。

委員長：では、その部分については、事務局で表現を検討いただければと思います。

委員長：他にご意見・ご質問ある方いらっしゃいますでしょうか。

<意見・質問なし>

小澤課長：それでは、ご意見・ご質問がないようですので、本日の議事内容の加筆や、先ほどいただきましたご意見を踏まえた修正を含め、委員長と副委員長の了解をいただいた上で、本日付の提言書として作成させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員長：それでは、今回いただいたご意見を踏まえて修正をいたしまして、今回の委員会の提言といたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

<異議なし>

委員長：異議なしということで、事務局におかれましては、文言の修正等よろしく申し上げます。

## 【議題2】今後について

委員長：議題2『今後について』、事務局より説明をお願いします。

小澤課長：それでは、『今後について』ご説明させていただきます。

[資料4『平成31年度 稲城市姉妹友好都市交流協会運営準議会について』、資料5『今後

のスケジュール（案）』に基づき説明]

なお、運営準備会の活動については無報酬ということも説明。

委員 長：ご説明ありがとうございます。ご意見・ご質問ある方はいらっしゃいますでしょうか。

委員：運営準議会では、フォスターシティ市を対象として検討すると思いますが、そうなりますと、平成 32 年 6 月に交流協会を設立するスケジュールでは少し遅いのではないかと思います。平成 32 年にはオリンピックがありますので、そのタイミングでフォスターシティ市から東京に来たいというようなご要望があると思います。それに対応できないのではないかと思います。

小澤 課長：今年度、観光協会が設立されておりますが、観光協会の事例も踏まえまして、協会設立までの準備期間等のスケジュールを勘案しますと、最速でも平成 32 年 6 月くらいになるのではないかと考えております。

ただ、みなさんのご議論の中で早く設立できる運びになれば、事務局といたしましても対応できる部分については、対応させていただきたいと思っております。

委員 長：小沢委員、いかがでしょうか。

委員：あまり納得はできません。交流協会が設立できていない時は観光協会にお願いするというスタンスということなのではないでしょうか。

小澤 課長：事務局といたしましても、早く設立できるのであれば、早期の設立を望んでいるところではございます。

委員 長：交流が必要になった場合は、運営準備会で進めていくというようなことでしょうか。

小澤 課長：そのようなイメージです。交流協会を設立する前に、例えば、フォスターシティ市から交流の要望があった場合には、運営準備会のメンバーの皆さん・市で連携して対応することになると考えております。

委員 長：早く進めるという機運があれば、早期に設立するということも可能ということで、よろしいでしょうか。

委員：スティーブ岡本氏は今年いらっしゃる予定でしたでしょうか。

芦 沢 部長：8月にいらっしゃる予定です。

委員：スティーブ岡本氏がいらっしゃった時の対応は、交流協会が設立されていなかったとしてもできるという理解でよろしいでしょうか。

芦 沢 部長：スティーブ岡本氏の来日については、時期は8月、滞在期間は1週間から10日ほどで、その間に稲城市に訪問されると聞いております。その際には、皆さまにもお声を掛けて、歓待いたしたいと考えております。

委員：ウェルカムパーティー等を行うとか、そのようなイメージでしょうか。

芦 沢 部長：交流協会が設立されていなかったとしても、運営準備会のメンバーの皆さまには歓迎のご協力をいただければと考えております。

委員：スティーブ岡本氏は、キーパーソンだと思いますので、絶対に外せないですし、大事にしなければならぬと思います。

委員：運営準備会は、3か月に1回の開催とありますが、これでは開催までに少し期間が空きます

ぎるような気がします。最低でも、2か月に1回は開催することが必要ではないでしょうか。2か月に1回開催すれば、交流協会の設立も前倒しできるのではないのでしょうか。

小澤課長：お示ししているスケジュールについては、事務局案となっております。今後の皆さまのお話し合い等で、開催を2か月に1回、あるいは1か月に1回等としていただいても構いません。

委員長：他にご意見・ご質問等ありますでしょうか。

<意見・質問なし>

委員長：ご意見がないようであれば、いただいたご意見を踏まえて、事務局で調整していただくということでもよろしいでしょうか。

<異議なし>

### 【議題3】その他

委員長：議題3『その他』、事務局よりお願いします。

芦沢部長：本日のご議論で、提言まで完成いただくことができ、本当にありがとうございました。一昨年の平成29年度から2年間かけ、委員の皆様には熱心にしかりとご議論いただきましたこと、改めて御礼を申し上げます。

提言書につきましては、今後、委員長・副委員長から市長に提出いたしまして、交流協会の設立に向け、進んでまいりたいと思います。また、来年度の運営準備会につきましては、熱意のある方にメンバーになっていただき、進めていくことが必要でございます。交流協会設立準備会委員の皆様には、今後もご理解、ご協力いただきたいと思います。2年間、誠にありがとうございました。

委員長：最後になにかご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。

<意見なし>

委員長：今まで2年間、つたない進行でご迷惑おかけしたかと思いますが、ご協力ありがとうございました。それでは、これで稲城市姉妹都市・友好都市交流協会設立準備会を終了いたします。ありがとうございました。